

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2023年8月25日）

■第3版 第4刷（2023年2月25日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所は https://www.yodosha.co.jp/correction/9784758113625_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
はじめに					
28	本文上から17行目	成分量が一定に保たれている状態を 定常状態 という。	成分量が一定に保たれている状態を 動的定常 という。		23/08/25
第2章					
55	左段上から7行目、11行目	輪 状 筋	輪 走 筋	用語統一2カ所修正（どちらも正しい）	23/08/25
第5章					
115	左段上から5行目	能率的にガス交換をするのに適している。肺胞は中隔孔（肺胞孔）により	能率的にガス交換をするのに適している。肺では、肺胞上皮および肺胞内 が実質 、肺胞壁の基底膜や肺胞間の結合組織などは 間質 とよばれる。肺胞は中隔孔（肺胞孔）により	赤字の説明を追加	23/08/25
第9章					
162	左段上から13行目	下肢帯には、腸 骨 筋（大腰筋、腸骨筋）が存在し	下肢帯には、腸 腰 筋（大腰筋、腸骨筋）が存在し		23/05/12